

6月
議会

口蹄疫対策の意見書 全会一致で採択

小松議員が提案理由の説明



6月3日から開会されている6月定例市議会に8件の意見書が提出されましたが、そのうち、口蹄疫対策での国への意見書は中西議員（清風クラブ）と小松議員（日本共産党）の2名から提出されていたため、議会運営委員会と会派代表者会議で調整の結果、共同提案とされました。意見書は、通常は議会最終日に議決されますが、事態の緊急性、重要性から本会議初日の3日に上程、全会一致で採択され、翌日の4日に国会の関係大臣に送付されました。議決に先立つ意見書の提案理由の説明には、獣医師でもある小松議員（写真上）が行いました。

口蹄疫の防疫体制の強化と畜産農家への万全の補償を求める意見書

要望項目

- 一、感染ルート解明に全力をあげ、特に輸入稲ワラなどの防疫体制を強化すること。
- 二、畜舎への搬入車への消毒、消毒槽の常設、消毒器具、消毒薬などの助成をして感染防御の体勢を整えること。
- 三、口蹄疫診断の簡易検査キット開発と配備をすること。
- 四、口蹄疫ワクチンの量産と備蓄をすること。
- 五、国産の稲ワラの利用促進、飼料用稲の作付け増産など粗飼料生産基盤を整えること。
- 六、家畜伝染病予防法を見直すこと。
- 七、各県に家畜防疫員を増員し、各県で相談に応じること、及び産業動物獣医師の確保を制度化すること。

日本共産党議員団が提案の国・県への意見書案は以下の5議案です。

22日の本会議で議決されます。

- コミュニティバスにかかる県補助金（運行対策費県補助金）の補助率維持を求める（安井議員）
- 唯一の被爆国の政府が世界から核兵器をなくす運動の先頭に立つことを求める（小松議員）
- 後期高齢者医療制度のすみやかな廃止を求める（山岡議員）
- 通学路の交通安全対策の強化を求める（山岡議員）
- 普天間基地の即時閉鎖・無条件撤去を求める（小西議員）

湖南地区6市の国保の現状と問題点

国民皆保険制度の要となる国民健康保険が財政上、危機的な現状となっているとおもとは1984年の国保法改悪以降、国庫補助金が減らされてきたためです。

「払いたくても払えない」加入者を拡大する結果となっています。日本共産党湖南地区政策委員会として、国民健康保険を守る大運動を広げるため、6市の調査をまとめました。

調査結果がご入用の方は、左記ホームページか、下記議員までお申し出ください。

ぜひ傍聴を



県立高校が7~12校なくなる！

県が統廃合の計画づくりを進めており、秋には実施に踏み出す意向です。

大幅な統廃合でマンモス校が増え、教育力の低下、学校に行けない子の増加、競争の激化などが懸念されます。

6月議会に滋賀高教組から、一方的な統廃合を進めないよう求める県への請願が、日本共産党4名の議員が紹介議員となって提出されています。

17日の文教常任委員会に付託され請願者からの意見が求められることになっています。傍聴してください。

6月議会日程

- 6/3(木) 開会
本会議・議案提案
- 10(木) 本会議（議案質疑）
- 14(月)~16(水)
本会議（一般質問）
- 17(木) 委員会
- 22(火) 本会議（最終日）

日本共産党甲賀市議団の
ホームページ

<http://city-koka.jcp-web.net/>

日本共産党

甲賀市議団ニュース

2010年6月13日 NO.



安井 直明
土山町前野 541
TEL 67-0147
Fax 67-1660



小松 正人
水口町名坂 128
TEL 62-9652
Fax 62-9652



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勲官 456
TEL 83-0765
Fax 83-0765